

# 試験経過記録 (その2)

(様式 4)

日向営林署

## (2) クヌギ切断処理木成長量調査

クヌギ樹高成長促進を目的に、地上5cm、10cm、20cmの3通りの切断を昭和59年度に実行し、ぼう芽状況を調査した結果は表-2のとおりである。

表-2

切断箇所	ぼう芽本数	切断工期	成長量 (樹高) cm								備考	
			60年度	61年度	62年度	63年度	元年度	2年度	3年度	総成長量		平均成長量
地上5cm	32本	9.8人	90	(32) 29	(22) 42	(23) 19	(22) 17	(18) 31	(18) 12	220	22	切断本数は各20本実行
10cm	30	8.4	94	(30) 25	(23) 56	(25) 19	(21) 29	(20) 54	(19) 25	202	20	
20cm	37	7.0	104	(37) 25	(32) 51	(32) 24	(21) 46	(20) 37	(19) 37	224	26	

(注) ( ) の数字は、測定ぼう芽本数

### 4 保育方法の検討

当初計画ではクヌギの伐採を平成7年度に予定しているが、クヌギの成長がヒノキに比較して悪いためクヌギの伐採年度を変更する必要がある。

中腹以下の広葉樹の繁茂が著しい箇所はクヌギの肥大促進を図るため除伐の必要がある。

状 況 写 真

区 分 指 示

日 向 營 林 署

( 様 式 6 )



全 景



全 景



谷 中



尾 根

# 状 況 写 真

区 分	指 示
-----	-----

日 向 営 林 署

( 様 式 6 )



戻  
根



分  
界  
い

平成 4 年度 技術開発実施報告

日向営林署

課題	クヌギ混交林施業法					
継続 新規	担 当	造林課	開 発 箇 所	日向営林署	開 発 期 間	昭和56 年度 平成7年 度
指示 自主 任意						
年度別実施経過			4年度 実施報告			
			(1) 調査事項  (1)成長量調査			

# 試験経過記録（その1）

（様式 4）

日向宮林署

課 題	クヌギ混交林施業法													
<p>1. スギ、ヒノキとクヌギの混植、または、クヌギのぼう芽更新を行い、椎茸原木生産と間伐等を組み合わせ合理的な椎茸生産技術と森林施業を確立する目的で、昭和56年度に2箇所の試験地を設定し、調査を実施してきたが、試験地の一つである三方界国有林138に林小班は、野鼠の害によりクヌギが全滅状態となったので、この試験地については昭和61年度で調査を打ち切り、尾鈴国有林17そ林小班についてのみ継続調査を実施しているため、その経過について報告する。</p> <p>2. 試験地            (1) 場所 尾鈴国有林17そ林小班            (2) 面積 2.25HA            (3) 植付 昭和57年3月            (4) 植付方法                ア. ヒノキ1条、クヌギ1条植（3プロット）                イ. ヒノキ2条、クヌギ2条植（3プロット）</p> <p>3. 成長量調査等            (1) 成長量調査は表-1のとおり</p>														
<p>表-1 <span style="float: right;">（注）63年度以降調査は、再生木の調査数値を含む。</span></p>														
樹 種	区 分	単 位	s56植栽時	s57	s58	s59	s60	s61	s62	s63	H1	H2	H3	H4
ヒノキ	本 数	本	94	79	79	78	78	78	78	92	92	92	92	92
	平 均 径 級	c m										6.2	7.3	9.6
	平 均 樹 高	c m	37	66	102	144	190	239	279	325	366	427	460	488
	年 平 均 成 長 量	c m		29	36	42	46	49	40	46	41	61	33	28
クヌギ	本 数	本	38	57	73	97	123	149	179	192	222	184	184	184
	平 均 径 級	c m										2.3	2.7	3.5
	平 均 樹 高	c m	38	57	73	97	123	149	179	192	222	246	271	296
	年 平 均 成 長 量	c m		19	16	24	26	26	30	13	30	24	25	25

## 試験経過記録（その2）

日向営林署

（様式 4）

（2）クヌギ切断処理木成長量調査

クヌギ樹高成長促進を目的に、地上5cm、10cm、20cmの3通りの切断を昭和59年度に実行し、ぼう芽状況を調査した結果は表-2のとおりである。

表-2

切断箇所	ぼう芽 本数	切断工期	成長量（樹高）cm								備考
			60年度	61年度	62年度	63年度	元年度	2年度	3年度	4年度	
地上5cm	32本	9.8人	90	(32) 29	(22) 42	(23) 19	(22) 17	(18) 31	(18)12	(18)8	切断本数は各20本 実行
10cm	30	8.4	94	(30) 25	(23) 56	(25) 19	(21) 29	(20) 54	(19)25	(19)9	
20cm	37	7.0	104	(37) 25	(32) 51	(32) 24	(21) 46	(20) 37	(19)37	(19)32	

（注）（ ）の数字は、測定ぼう芽本数

4 保育方法の検討

- (1) くぬぎの伐採年度が平成7年度に予定されているが変更の必要あり。
- (2) くぬぎ及びひのきの成長を図るため平成4年度に除伐を実行した。

平成 5. 年度 技術開発実施報告

日向営林署

課題		クマシ`混交林施業				
継続 新規	担	造林課	開 発 箇 所	日向営林署	開 発 期 間	昭和 6 3 年度 平成 7 年 度
指示 自主 任意	当					
年度別実施経過			5年度 実施報告			
			(1) 調査事項  (1) 成長量調査			